



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	株式会社吉備総合電設
所在地	鳥取市田園町三丁目101番地
代表者	代表取締役 山下 誉議
業種	建設業
事業概要	建設業許可：国土交通大臣許可（特－4）第19573号 許可業種 特定建設業 電気工事業 電気通信工事業 一般建設業 消防施設工事業 管工事業 消防設備保守点検 防災用品販売

とっとり SDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: ㈱吉備総合電設]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

『防災でお客様の人命と財産を守り、地域になくてはならない会社になる』という創業理念を受け継ぎ、『鳥取県で防災といえば吉備総合電設』と言っていただけの企業となることを目指します。

弊社の経営理念「豊かで 安全な社会づくりのために」に沿い、地域の皆様の生活に欠かせない電気設備や電気通信設備といったインフラ整備により豊かな地域社会づくりに貢献し続けるとともに、消防設備に加えて防災関連商品の取り扱いも充実させ、人命と財産が守られる安心・安全で強靱な地域社会づくりにも貢献する企業となります。

また、行動指針に「ONE TEAMの精神で」を掲げ、100 年続く会社を目指し、全社員一丸となって行動してまいります。弊社は創業 60 年を迎えますがまだまだ道半ばであり、終わりはありません。2030 年、さらにその先にわたっても地域の安心・安全を守り続けるため、地域社会、住民の皆様の声に耳を傾け続けるとともに、時が経過しても劣化することのないよう、柔軟で強靱な防災設備・商品を提供し続けてまいります。刻々と変化する環境へ対応し続けるため、社内においては業務の効率化を進めていくとともに、技術動画の作成など業務スキルの習得・向上や人事評価制度の改定、社内諸制度の見直しなどによる働き方改革も実現させ、社員一人ひとりが誇りをもって地域に貢献できるよう取り組んでまいります。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会6 多様な働き方の促進 経済8 デジタル化による生産性向上 社会8 社会配慮型商品・サービス提供

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

「地域の安心・安全を守り続ける」という弊社のビジョンを達成するためには、弊社が存続し続けること、またそのためには弊社を支える社員が地元鳥取県のため、誇りを持っていきいきと、かついかなるライフステージでも自分らしく働き続けることができる環境を整備することが必要と考えています。そのために、「社会6 多様な働き方の促進」の実現と、「経済8 デジタル化による生産性向上」の実現に重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

デジタル化による生産性向上を進めて社員負担を減らしつつ、生まれた余力と時間をワークシェアや休暇取得、また地域のための新規事業に投じることで、多様な働き方の実現とデジタル化の実現による負の影響を補いつつ、必要なコストを負担できる弊社の事業活性化につなげてまいりたいと考えております

◆多様な働き方の促進

<正の影響>

- ・様々な世代、境遇。性別の職員が、各々が望む形で働くことができる(在宅ワーク、必要な長期・短期の休暇など)
- ・働きやすい環境の整備により、社員の定着や新規採用に強みとなる(働きたい方に選んでもらえる会社になる)

<負の影響>

- ・在宅ワークが本格化すれば、オフィスに社員がそろわないこともあり、業務上のコミュニケーションが不足する可能性がある
- ・弊社に対する社会の期待は大きく、業務量は増えていくことが想定されるため、社員数を増やす必要があり、弊社にとっては人件費負担が増える可能性がある

◆デジタル化による生産性向上

<正の影響>

- ・増加する業務量に、より短期間、少ない労力で対応することができるようになる
- ・労働実態の見える化の実現により、さらなる改善が図れる

<負の影響>

- ・投資となるため、コストが増加する
- ・業務の効率化によって人件費を下げるわけではないため、IT投資コストと合わせてコスト増加要因となる
- ・現在使用しているOA機器等が不要となる(一時的に廃棄物が増える可能性がある)

◆業務の DX 化の促進

社会6に記載しているテレワークの推進については、働き方改革につながればという考えのもと取り組んでいるが実際に働いている時間を管理するのが難しく作業時間が本当に減るのか不確定である。

経済面ではPCやソフト導入のコストがかかり、費用対効果がどれだけのものか、従業員が使いこなせるのかという不安もあります。

IT導入補助金の申請も検討しています。

環境面ではペーパーレス化で資源の削減はできるとは思いますが、設備の入替で不要機器の廃棄が増えるのではと考えています。

現状年度末の忙しい時期は残業する事があたりまえになっているが、テレワークを活用し、現場作業と事務所作業を手分けして行えば、一人の作業時間を減らせるのではないかと思い、令和4年2月から外部の人材を活用し事務所作業を外注するシステムを利用している。現場以外の仕事をテレワークの人材で行う事で、残業時間を減らし有給休暇も取得しやすい職場環境を目指しています。

◆地域防災力向上に貢献

- ・地域の学校企業町内会に防災訓練を持続的に行う。
- ・自社オリジナル防災用非常持出袋を用い、災害時備蓄の普及を図る。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼と安全ミーティングを実施 ・年1回、社内安全大会を開催 ・万一事故が発生した際には、事故報告書を速やかに作成して全社員へ回覧し再発防止に努める仕組みを構築している ・全車にドラレコを設置し、安全運転を心掛ける。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労災0を目標とする。 (毎年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に安全標語の唱和を若手社員にしてみよう。 ・ヒヤリハットを抽出し対策を考える。 ・若手社員の安全意識の向上のため、定期的に安全講習会を行う。
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社労士を招聘し、ハラスメント防止講習を実施 ・ハラスメント対策について、就業規則等を整備済み ・外部相談窓口を社労士に依頼する。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント発生件数 ゼロ(毎年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にバワハラ講習・勉強会を行う。 ・問題発生時に早急に対応できるよう外部カウンセラーと連絡体制を作る。
3	女性の活躍	○	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 10.9%(R5.4時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 11.7%(R5.4時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の積極的採用、管理職への積極的登用 ・男女共同参画推進企業認定を申請中(R5.6月取得予定) ・女性技術者(R5.4)1名採用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全従業員に対する女性の割合 13%(R6.4時点) ・全管理職に対する女性管理職の割合 15%(R8.4時点) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性技術者の採用(1名追加)R7.4月 ・職場環境整備(リモートワーク推進、子育て支援として有給の時間取得を可能にする。 ・女性のキャリアアップ研修セミナー参加推進
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の採用(再雇用制度4名) ・再雇用者による若手への技術の継承 ・中途採用(ポリテクセンター)で求人募集 ・非正規社員の正社員化(実績3名) ・健康経営を推進し、保健師さんの保険指導を受ける。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクボス・ファミボス宣言をR5年度に実施 従業員の仕事と家庭の両立を応援する。(育児・介護) 事業継承の為、高齢者の技術能力を有効に活用する。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再就職希望者を支援(ポリテクセンターでの雇用) ・制度を使いやすい職場風土作り、周囲のフォロー体制整備。 ・定年退職者を再雇用し地域貢献事業を立ち上げる(R7.4) ・従業員の育児・介護休暇が取得しやすいように声掛けし、人員の確保に努める。
6	多様な働き方の促進	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦においてテレワーク実施。 (デスクトップPCをノートPCに変更し自宅においても仕事ができるようにする) ・産後パパ育休制度導入(R4.9.1) ・外部人材を繁忙期に活用する 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇や残業管理のデジタル化する。 (R7.4) ・年休取得状況を共有化し有給取得の見える化を行い計画的有給取得を推進する。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅のできるテレワーク業務(CAD、見積等の書類作成)を増やす。 ・外部人材を活用し、社内での業務量を減らし、従業員に有給休暇取得を推進する。 ・産後パパ育休の取得を促し、取得後の人員体制を整える。

7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 ・社内人権研修の実施(年一回全員参加) ・社外人権研修への参加(年3回5人参加) ・従業員の適正な労働条件の確保 ・あいサポート企業認定済	【今後の目標・達成時期】 ・人権研修を年一回ではなく数回行うことで従業員に意識啓発を浸透(毎年) 【目標達成に向けた取組】 ・業務を効率化し、休みがとりやすい環境を作る(R6,4) ・DX化、業務効率化も併せて実施し、時間外労働が発生しにくい体制をつくる
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 ・消費者や取引先からの意見・要望の窓口設置。頂いた意見は受付担当から営業担当へ連絡し、社内でも共有、対応する。 ・自社オリジナル商品 防災用非常持出袋を開発し販売する。 車載用非常用持出袋 ・地域の学校、病院、会社の防災訓練を無償で行っている。 ・Instagramアカウント「キビくん」を開設し、防災に関する情報を無償提供している。 ・電気工事、電気通信工事といったインフラ整備や消防設備の設置保守といった弊社の事業そのものが、強靱なまちづくりに貢献している。	【今後の目標・達成時期】 ・自社オリジナル非常持出袋を災害時地域防災活動に役立てる。(R5.5から) ・地域防災訓練時に非常用持出袋の重要性を説明する。(R5.5) 【目標達成に向けた取組】 ・イベント等で商品の説明を行い販売する。 ・自社オリジナルの車載用、非常用持出袋を更に顧客のニーズに合わせて改良していく。
9	地産地消	○	【主な取組】 ・地元事業者との積極的・優先的な取引 地元業者に見積りを依頼し予算段階から検討していく。 県からの要請もあり、材料、外注労務については地元業者を起用する	【今後の目標・達成時期】 ・地元業者とのつながりを更に増やし、下請業者とともに建設業を盛り上げていく。(R8.3) 【目標達成に向けた取組】 ・鳥取商工会議所青年部に入会し、同業、異業種交流を進めていく。
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 ・非常用持出袋を100セット鳥取県に寄贈しました。 ・職場体験インターシップ受入(鳥工、北中) ・地域ボランティア 小さな親切運動日本列島グリーン大作戦参加 小さな親切運動の永年参加による表彰状授与 ・全市一斉清掃地域清掃に参加 ・ガイナレー鳥取・しゃんしゃん祭り・お城祭りの寄付活動	【今後の目標・達成時期】 ・地元自治体のイベントの協賛を増やす(R5.4) ・清掃活動・ボランティアに年3回実施 ・令和5年度「とっとりインターシップ」企業登録 【目標達成に向けた取組】 ・防災訓練を通し地域の方の防災意識の向上に努めるとともに、有事の際の実効性を高めることへも貢献していく

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態(地震などの災害)発生時においても従業員およびその他の家族の安全を確保しながら自社の事業を継続する為、緊急連絡網を設置。 ・データサーバーを2か所に(鳥取と米子)設置し相互でデータのバックアップを行っている。 ・会社の携帯をスマホ化し社内チャットツール(WowTalk)を導入。緊急連絡や安否確認が行える体制にした。 ・BCPの基本方針の策定 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>顧客データ、社員データ、給与データにデータ保持の優先順位を決めクラウドで管理する(R7年まで) BCPの重要性を従業員に理解してもらう為、社内で教育活動を実施する。(R5年度中)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>BCPは定期的に点検見直しを行い、必要に応じてブラッシュアップを行う 緊急連絡・安否確認の実効を担保するための訓練を定期的実施する。(年1回) BCPの社内研修を行う。(年1回)</p>
2	セキュリティ対策	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先や、建物に出入りする者のセキュリティ上のルール整備 ・ウイルス対策ソフト導入 ・インターネット(UTM)で総合セキュリティツールを設置し通信監視と不審サイトのブロックを行う。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内の情報漏洩ゼロ(R7.4) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の改装(監視カメラ、入退管理システム導入)(R7.4)
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修の実施 ・社長からの法令順守のメッセージ発信 ・品質マネジメント、環境マネジメントシステムISOを2006年導入し、ISO 内部監査にて毎年6月に年一回法規制遵守の徹底を図る。 ・顧問弁護士・税理士・社労士と契約し、法的な相談対応を早急に出来るようにしている。 ・アルコールチェックの厳正な実施(令和4年6月から) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令違反の発生年間0件を目標にする(毎年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修を年に2回行い、違反を許さない体制作り
4	情報公開	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年にホームページを改定し、当社の基本理念や事業内容、環境への取組(エコマーク付消火器販売、廃消火器の回収とリサイクル)に加えて、採用ページでは先輩社員の声を情報提供している。 また、Instagramアカウントも開設し、防災に有用な情報を無償提供している。 ・電気工事技術動画を作成し、若者に建設業の魅力を発信する。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを更に充実させ会社の魅力を発信する。(R5以降継続的に実施) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会社見学の動画作成 ・現場女性社員の活躍を掲載し雇用に繋げる。
5	後継者の確保	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者及び役員が、資産、従業員の年齢構成、資金繰り、株式保有状況、経営保証など、会社の経営状態・経営課題の把握。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の経営層の育成の為、若手社員の人材育成に力を入れ2030年までに企業基盤を強化する。 ・管理職に若手を積極的に採用していく <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職の心得を示す業務分掌の見える化・権限移譲 ・会社の有事における管理職の役割分担を決めておく。

6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の業態にとらわれすぎることなく、市場や経営環境は常に変化することを前提とし、お客様のマーケティングリサーチ、インターネットより情報収集を行っている。 法令の改正や規制の動向など、自社の経営に影響を及ぼす可能性のある事象の把握とその影響度合いの分析にも努めている 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共工事依存からの脱却 (R7.4) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共工事の受注を維持しながら一般の顧客向けのサービスを検討中 再雇用者を活用したサービス <p>検討段階では何ができるかという事になるが検討後想定されるのは防災というところから町内会の防災訓練の支援や防災グッズの販売等を考えています。</p>
7	自社以外の経営資源活用	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副業・兼業人材など、外部専門家の活用 R3年5月 ネットショップ業務委託 R4年10月 SDG取得のサポート業務 R4年4月 CAD作成スタッフ起用 働き方改革の為、新しくスケジュール管理ソフト、見積ソフトを購入の際、IT助成金を活用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資ファンドなどの外部資金獲得 (R7.4) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取引先金融機関との連携の強化 税理士事務所と相談しながら助成金を活用する。 技術継承には、外部人材からの技術指導を検討
8	デジタル化による生産性向上	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化の推進体制づくり 顧客データを紙ベースからデジタル化するソフト(プランナーEX)を導入し、顧客データと作業スケジュールを一元化し、売上見込み額を見える化した。 各営業所間の社内会議をリモート化し時間の有効活用を行う。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化を活用した業務の効率化システムづくり (R6.4) タイムカード・社員データ管理 (R6. 9) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化推進のリーダー、副リーダーの任命 導入システムを定着させつつ、さらに新しい可能性は継続的に検討していく
9	雇用の維持・拡大	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社の成長・発展に向けた事業転換や経営多角化、設備投資 令和5年新卒4名 中途 1名 計5名 令和4年新卒2名 中途 6名 計8名 企業説明会や就職セミナーの積極的参加 HPに求人情報を掲載 インターンシップによる採用強化 社員の健康づくり宣言(健保協会鳥取支部) 鳥取県がん検診推進パートナー企業認定 健康経営を行うことで社員の確保を行う。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員拡大、本社の改装 (R6.4) 毎年定期的に人材確保する(1年2名採用) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中途採用の実施(ポリテクセンターで採用) 設備増強により、雇用拡大に耐えられる体制へ
10	人材育成・能力開発	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加推奨、積極的活用 将来へ向けた技術の継承 ベテラン社員が若手技術指導を行い個人のスキルと知識を向上させる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社内育成マニュアルの作成 (R6.4) 人から人のみではない、映像を使い一生使える技術伝承の確立 (R7.4) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当部長を任命し若手社員にヒアリングを行う 技術動画の作成 外部講師の技術指導講習を受講させる。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・環境変化による資材不足 ・自然災害の発生リスク 電気、通信網の寸断など 【分析に基づく主な取組】 ・災害からの復旧には、弊社がいち早く現場に駆け付ける必要があるため、BCPの実効性の向上を図っている ・特定部門に頼りすぎないよう事業の多角化を検討している ・有事に備えるため、防災設備の点検、販売も業として行っている ・災害時に要請があった場合迅速に作業を行う体制を作っている。 国土交通省、鳥取河川国道事務所 鳥取市	【今後の目標・達成時期】 ・質の高い工事、設備の提供(毎年) ・地域防災への一層の貢献(R8.3) 【目標達成に向けた取組】 ・災害は起きないのが望ましいが、地域が有事に対応できるようにするのが当社の役割。 弊社が質の高い工事、丁寧な点検を行うことが防災に対する強靱性を高めることにつながるため、毎日の業務を丁寧に実施する。 また、災害時に弊社が機能不全とならないよう、自社BCPの実効性は高めていく
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 カーボンニュートラルの実現に向け、太陽光発電設備の設置や、電気設備の更新、通信網の拡充などが一層進んでいくことが考えられる。 CO2の削減と地球温暖化を防ぐため、リサイクルの必要性が一層高まると考えられる 【分析に基づく主な取組】 太陽光発電設備工事の施工実績あり 事業に伴って発生する廃棄物が最小限となるよう現場に徹底している。 限りある資源を有効に活用するため、エコマーク付き消火器を優先的に使用するとともに、リサイクルを推進している(これまでの実績 9,578本)	【今後の目標・達成時期】 ・太陽光発電による再生可能エネルギーを自社電力として使用し、大幅なCO2削減を行う。(R7.8) 【目標達成に向けた取組】 ・本社工屋改修時に太陽光発電を設置する(R7.8)
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 業種柄、社有車による移動が欠かせないため、当社の事業が活性化するほどCO2の排出も多くなる可能性がある 建設に必要な資材としてエコケーブルを使用し環境に配慮している。 【分析に基づく主な取組】 社有車によるCO2排出量の分析と対策の検討を行っている。 施工現場による工事資材のロスの撲滅を各現場に徹底している	【今後の目標・達成時期】 社有車におけるCo2排出量の削減(5%/年)(R6.4) 【目標達成に向けた取組】 社有車に電気自動車の台数を増やす。 施工技術の高度化による無駄の一層の削減
4	【カーボンニュートラル①】 <省エネ>燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2排出量 47.2t-CO2/年(R4.3時点) 燃費 12.3(R4.3時点) 【主な取組】 J-クレジットの購入(50t) エコドライブの実施 CO2削減の為、アイドリングストップ運動に参加 電気自動車の購入 Cpod(TOYOTA製)購入。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2排出量 46.0t-CO2/年(R5.3時点) CO2排出量 44.9t-CO2/年(R6.3時点) CO2排出量 43.7t-CO2/年(R7.3時点) 燃費 13.0(R7.3) 【目標達成に向けた取組】 安全運転・エコ運転の講習会を行う。 現場管理、車両・人員配置の効率化を行い無駄な車両の稼働を減らす。

5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 42.9t-CO2/年(R4.8 時点) 【主な取組】 社内照明の LED 化 クールビズの推進(夏はポロシャツを着用) 夏の作業時に空調服を導入 H19年から電気使用料を継続的に記録し、エアコンの温度管理、節電目標を決め、社員の省エネ意識を向上。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 42.5t-CO2/年(R5.8 時点) CO2 排出量 42.0t-CO2/年(R6.8 時点) CO2 排出量 41.5t-CO2/年(R7.8 時点) 【目標達成に向けた取組】 空調設備を省電力タイプに順次更新 空調の温度管理、オフィスの節電の徹底と声掛け パソコンの電源を離席時に切ることを、社員に呼び掛ける。
7	廃棄物の削減 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> R3 売上高あたり廃棄量(135.63t/百万円) R4 売上高あたり廃棄量(115.76t/百万円) 【主な取組】 ・鳥取市ゴミ減量等推進事業所認定 H22.5.13 ・廃電線の被覆廃材を除去し有価物として引取を行い再生、電線ドラムの回収で再利用。段ボール、シュレッダーゴミ等も有価物としてリサイクルしている。 ・環境ISOを取得後継続的に記録し、社員にゴミ削減を周知しデータの供給を行う。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> R5 売上高あたり廃棄量 0.5パーセント削減 【目標達成に向けた取組】 紙の使用量を減らすため、書類のデータ化を進める。(紙の単価も高騰している)
8	水資源の適正な管理	○	【主な取組】 ・現場での節水の徹底 ・事務所での節水呼びかけの掲示	【今後の目標・達成時期】 水道使用量の削減(R5 年度比 5%) 期間 令和5年9月～令和6年8月 令和6年9月～令和7年8月 【目標達成に向けた取組】 水道使用量を把握、社内開示し削減目標を設定し具体的に削減していく。 節水型設備へ置き換え可能なものは更新を検討
9	環境配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 再生消火薬剤を 40%使用したエコマーク付き消火器を積極的に販売し、不要になった消火器は当社で回収しリサイクルを行っている(累計で 9,578 台を回収) ISO14001取得済。品質はもとより、環境にも配慮したサービス提供を全社的に実施している。	【今後の目標・達成時期】 販売本数 2,500 本(各年度) 【目標達成に向けた取組】 防災の観点からも、既存取引先へは期限切れ消火器の交換を積極的に提案していく 当社の活動の認知度向上施策(既述)とあわせて、新規取引先や新築物件への導入提案を積極的に実施していく
10	環境面での社会貢献 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 ・鳥取砂丘の一斉清掃に参加 小さな親切運動の砂丘一斉清掃参加の永年参加が認められ表彰を受ける。 ・全市一斉清掃時、町内の清掃を行う。 ・Jクレジットの購入により森林保全に貢献している。	【今後の目標・達成時期】 活動参加人数の増加(毎回目標 20 名) 【目標達成に向けた取組】 環境に対する意識付けを継続的に行っていくとともに、業務の効率化による職員の負担軽減を進め、社外活動にも積極的に参加できるように努める Jクレジットを購入しなくてもよい企業となれば理想だが(カーボンフリー)、現実的にはオフセットする必要があり、必要に応じ活用していく。